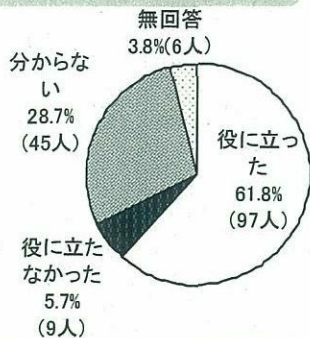


## 【評価の概要(従業員)その1】

### 事業への満足度



### 参加して良かったこと

選択式、複数回答

「自分の健診結果や生活習慣の状態が分かった」45.9%

「自覚症状はなくても、生活習慣病を発症するリスクがあることが分かった」45.2%

「肥満・糖尿病を予防するために生活習慣を変えようと思えるようになった」38.9%

### 配布資料の評価

	使用率*	使用者の評価
BMIチェッカー	82.8%	「使いやすい」48.5%
ウエストチェッカー	86.0%	「使いやすい」34.1%
パンフレット	91.1%	「分かりやすい」39.9%
食事バランスガイド	80.9%	「使いやすい」21.3% 内容「参考になった」62.9%
万歩計	69.7%	—

\* 事後アンケート回答者157人(万歩計についてはそのうちⅡ、Ⅲ段階の者67人)中、各項目の無回答者を除いた数を対象。

### 保健指導の評価

	参加者数(率)	参加者の評価
集団健康教育(アンケートでは「説明会」)	131人(73.2%*)	「分かりやすかった」67人(51.1%)
個別保健指導(アンケートでは「個別相談」)	60人(75.0%**)	「相談して良かった」36人(60.0%)

\*参加同意者179人を対象

\*\*個別保健指導対象者80人を対象

(希望者にも実施したため階層化によるⅡ、Ⅲ段階の者より多くなっている)

## 【評価の概要(従業員)その2】

### 事業参加前後の変化

#### 行動変容ステージの変化

「体重の定期的測定」、「腹囲の定期的測定」、「食事」、「飲酒」、「生活活動」、「運動」に関する行動変容ステージについて、比較を行った。事後は、どの項目についても、ステージ1(無関心期)の割合が減少し、ステージ2(関心期)以上が増加する結果であった。特に、「腹囲の定期的測定」については、事前はステージ1(無関心期)52.3%であったが、事後には77.2%の人がステージ2(関心期)以上という結果であり、最も変化を示した。

#### BMIに関する変化

事前は男性では28.0%が、女性では9.8%が肥満(BMI 25以上の者)であった。事後は男性22.6%、女性4.9%となっており、事前事後で、男女ともに肥満者の割合は低くなっていた。

#### 腹囲に関する変化

事前は男性42.9%、女性6.7%が基準値以上(男性85cm以上、女性90cm以上)であった。事後は、男性は基準値以上の者が38.5%と低くなっていたが、女性では変化がなかった。